

美を創る

上京の史蹟⑨

春の区民茶会

平安京の諸相

ふれあい史蹟ウォーキング

読者の声

上京クイズ「これはどうでしよう?」

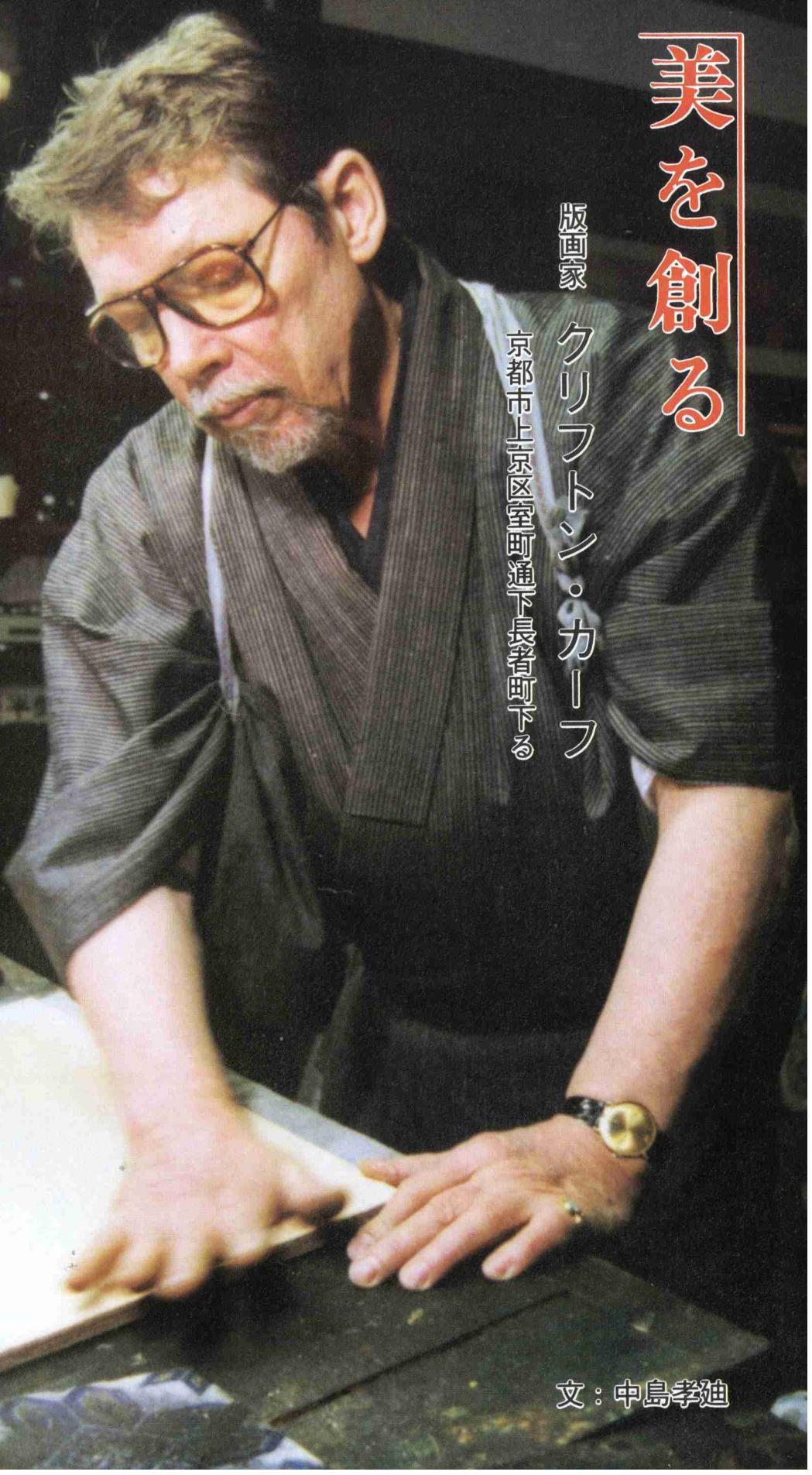
上京 史蹟と文化

VOL. 9 1995

美を創る

版画家 クリフトン・カーフ

京都市上京区室町通下長者町下る



「日本人以上の日本人」と評されるアメリカ人版画家・クリフトン・カーフさん。その四十年に及ぶ在日作家活動は、日本両国の友情の懸け橋として文化の面に大きいなる足跡をしるしてこられた。

カーフさんの作風は、大胆な黒線による輪郭の描写と鮮烈な色彩

が醸し出す神秘的な雰囲気で、そこには自然を超えた美の世界が創り出されている。それは恐らく、彼が美しい京都の町に居を構え

るアメリカ人だからこそ生まれたものであろう。

文：中島孝迪

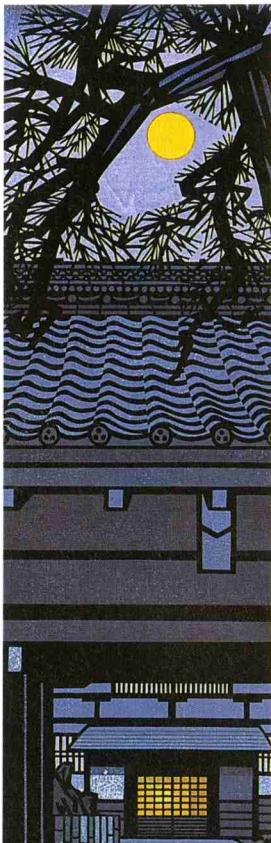
カーフさんは一九二七年、米国ミネソタ州ダルースに生まれる。絵画の好きな両親や祖父の影響を受けながら成長した彼は、十二歳

の時、芸術家を志し、絵画に専念したという。昭和二十二年、米軍の隊付画家として長崎県佐世保に進駐。二年間の進駐軍生活の間に日本の風物に魅せられ、帰国後、ミネアポリス美術学校に入学、本格的に美術を学んだ。

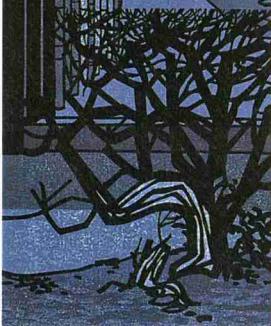
昭和三十年、キリスト教関係の出版担当者として再度来日。岐阜に居を構えるが、かつての日本の印象が忘れ得ず、爾来、日本に定住し、油彩、水彩の画業に励む。

昭和三十七年、岐阜から京都に移住。この頃から木版画に傾倒、以来版画家として、日本全国は勿論、アメリカ、ヨーロッパなどでの個展を開催、多くのファンを魅了すると共に数多くの賞を受賞する。

最近、ヨーロッパの旅を終えて関空からの帰路、車窓を過ぎる景色を眺めて考えさせられたといわれる。ヨーロッパを巡って感じた各国の個性や伝統というものを、日本は失いつつあるのではなかろうか。戦後の日本は、無表情で味も匂いもない画一的な街を生み出してしまった。経済的発展の裏で、このように大きな代償を払ってきたことを今一度考え直すべきだろう。日本独自の風景を求めてカーフさんは今日も制作にいそし�れている。



相國寺の月

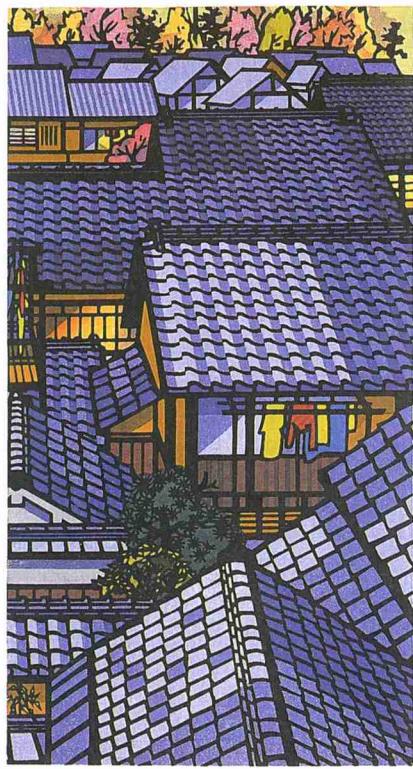


雪の祇園町

オープン・スタジオのお知らせ

●とき／十一月二十三日(木)～二十六日(日) 前十一時～午後五時
●ところ／自宅（室町通下長者町下る西側）

カーフさんはご自分の誕生日である十一月二十三日から四日間、ご自宅のスタジオを開放され、多くの方々のご来場をお待ちです。この機会にカーフさんの芸術に接し、親しく一時を過ごされてはいかがですか。



西陣の甍

上京の史蹟

その九

上京の歴史的推移

京都の新生 明治その二

江戸が東京と正式に改称され、首都が東京に移り、文明開化の旗印のもと、明治時代が華々しく幕を開けました。首都・東京の繁栄に対し、天皇の車駕東幸（京都から東京へ遷都）によつて帝都でなくなった京都が、悲嘆、失望、寂寥、沈滯の巷と化し、西方の一地方都市「西京」と呼ばれるようになったのが明治五年（一八七二）の頃であります。これは京都人にとって、まさに転落感を伴なう屈辱以外の何者でもなかつたのです。しかし、京都は古都となり「西京」と呼ばれながらも、なお、誇りを持ち続け、官民一体となつて近代都市としての発展を目指し努力を重ねました。

京都の近代化は、まず教育制度の整備から始められます。即ち、学区制に

述べたようにジャガードの導入により一方、殖産興業政策についても、郷土産業の近代化として、前号で詳しく書記官としてこの事件に対処し、明治

琵琶湖疏水計画

府立医学校（現在の府立医科大学）が

上京区梶井町の現在地に、また、同三

年（一八八〇）には御所の御苑の中には日本最初の京都府画学校が、同二十二年（一八八九）には、第三高等学校が大阪より京都に移り、やがて京都大学の設立と共に学問の都としての基礎を築いたのです。

中央政府と直結し、あまりにも独裁的な模村府政に対し、市民の中から反対運動が起つたのも事実です。このことを憂慮した政府は、人心の反発を避ける意味から模村正直を元老院議官として更迭し、その後任として、但馬出身の北垣国道を京都府知事に任命します。北垣は西南の役の際、熊本県大

貿易その他、各方面において躍進するのであります。これはまさに、模村正直京都府知事の積極的な助成と西洋の技術文化導入による近代化の促進でありました。

一二年（一八七九）には政争激しい高学者・ゴットフリート・ワグネルが釉薬の研究や焼成技法、更には、透明な洋式七宝釉薬の製法を指導し、工芸品としての七宝を京都に伝えます。このようにして生産機構や技術面で飛躍的な発展を遂げた京都は、以後、海外貿易その他、各方面において躍進するのであります。これはまさに、模村正直京都府知事の積極的な助成と西洋の技術文化導入による近代化の促進であ

りました。十二年（一八七九）には政争激しい高知県の県令として敏腕を振るつた人物でした。その彼が知事に就任するや、行政指導型の府政に対し、民意による府政へと転換を計ります。この方針に京都市民が歓喜したのはいうまでもありません。彼は地方行政に対する豊かな経験を生かし、首都を東京に奪われた京都を西洋文明を採りいれた産業都市に発展させ、産業推進政策を打ち出します。

元来、京都は三方を山に囲まれた盆地であるため、防衛には優れているものの、交通の便はすこぶる悪く、特に、北陸地方からの交通は至難のものになりました。また、水利の面でも市内を流れる鴨川を始めとする河川は水量が少なく、舟運や用水などにも、市民生活を支える上で十分ではなかつたのです。これを打開し、京都市の将来の繁栄に結び付ける近代産業都市化推進策として、市民の用水の確保、舟運の便



第3代京都府知事
北垣国道
(京都市水道局蔵)

宜、さらには、水力による交通、産業の動力確保を目的として北垣知事が立案したのが、琵琶湖疏水計画でした。

当時の明治政府は、近代国家建設のため多くのお雇い外国人を招聘し、各

分野において彼等の指導を仰いだので

す。その数は、明治初年から二十二年

頃まで実に二千三百人に及んだと言わ

っています。彼は、この琵琶湖疏水計

画を外国人の指導を受けずに完成した

と考へています。時あたかも、福

島県で安積疏水が完成します。この疏

水は、猪苗代湖から安積平野に灌漑用

の水路を引くもので、明治政府の大土

木事業としてオランダ人技師・ファン・

ドールンの設計、指導によって完成し

たのです。当時のドールンの月給は六

百円と言う法外なものであつたと伝え

られています。北垣は、政府高官の誘

惑されていました。北垣は、政府高官の誘

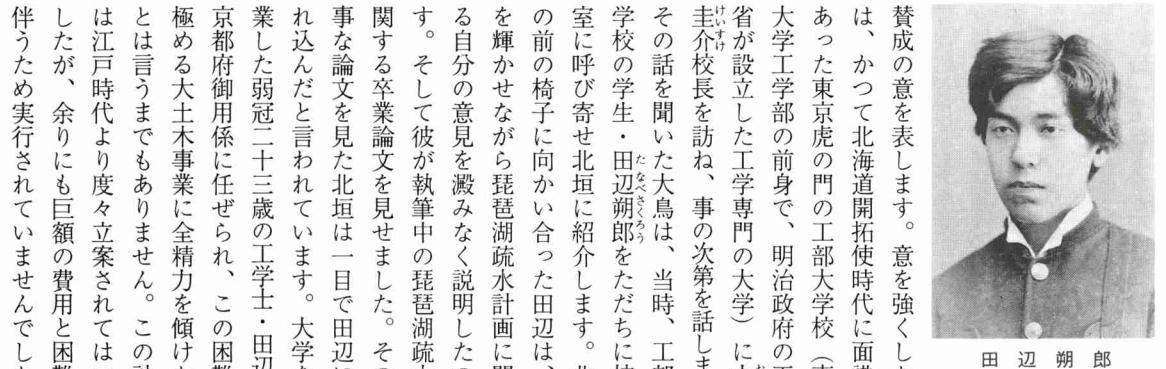
惑されていました。北垣は、政府高官の誘

惑されていました。北垣は、政府高官の誘

惑されていました。北垣は、政府高官の誘

惑されていました。北垣は、政府高官の誘

惑されていました。北垣は、政府高官の誘



田辺 朔郎
(京都市水道局蔵)

しかし、北垣知事は京都府に着任するや、数多くの事業を行つより、あえて京都百年の大計のためこの疏水事業一本に政治生命を賭けたのです。

明治十八年（一八八五）六月一日に着工されたこの大事業は、琵琶湖湖畔より山科を経由し鴨川に至る全長十一・

一キロメートルに及ぶ大土木工事でし

た。特に、三井寺下より藤尾村に通じる第一トンネルは、一千四百三十六メー

トルで、当時の日本における最長のト

ンネル工事と言われただけに、かつて

経験したことのない難工事でありまし

た。田辺朔郎はこの工事に際し、小関

峠より豎坑（シャフト）を二本掘り四

方向からの掘削と言う、当時としては全く新しい工法を用いています。特に、

長等山、小関峠は非情に地盤が硬く、

湧水の多い地質であつたため、難渋に

難渋を重ねた苦難の工事であります。

琵琶湖疏水の主目的は、水利による運輸、交通、灌漑、飲料水確保、並びに水車動力の開発であります。中でも、

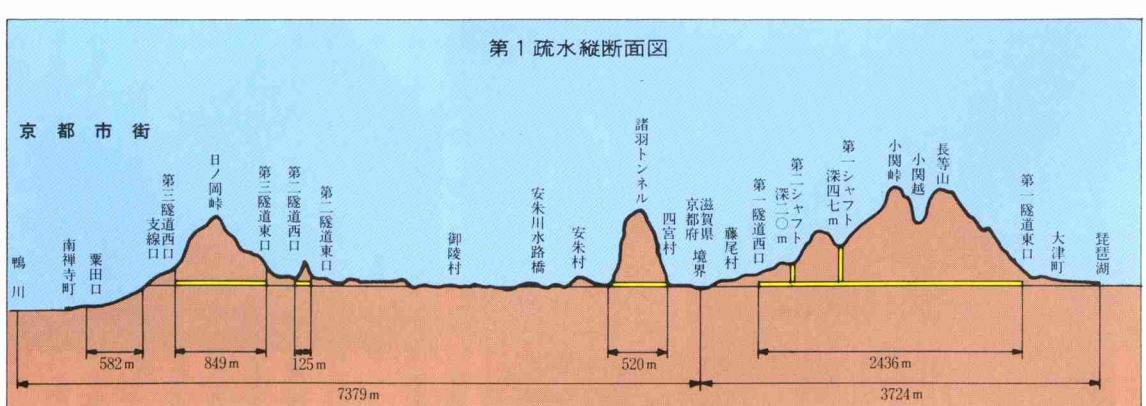
水車動力の開発は産業発展のための最重要課題となっていました。そのため

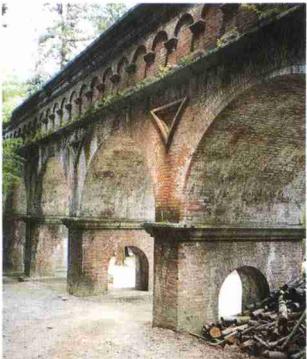
当初計画では、最も落差の大きい蹴上

から鹿ヶ谷付近に三段から四段の水路

を造り、その間に工業用水車を設け、

その動力を利用して付近一帯を産業・





南禪寺水路閥



蹴上合流点付近



田辺朝郎銅像

工業地帯とすることが決まっていたのです。

明治二十一年（一八八八）七月、上・下京連合区会において疏水の落差を利用した水力発電の動議が川島甚兵衛より出されました。当時わが国では、明

治十九年（一八八六）より東京電灯会社が火力発電による電力事業を始めていましたが、未だ水力発電はおこなわれず、世界でもスイス、アメリカで小規模なものがあるに過ぎませんでした。田辺は、疏水計画の当初から水力発電の問題を頭の中で描いてはいましたが、技術的な問題等で計画に組み入れるまでには至りませんでした。丁度その頃、『工学会誌』に掲載された米国アスペンの水力発電所開業の報は彼に衝撃を与えたと、伝記は伝えています。彼の

答申もあって、連合区会は現地視察のため米国のアスペン並びにホリヨークに議員一名と工事主任・田辺朝郎を派



殉職者の碑

遣することに決定します。

明治二十一年十月二十日、田辺朝郎と高木文平議員を乗せた客船アビシニ

ア号は横浜を出航、一路カナダのバンクーバーへと向かいました。カナダ経由でニューヨークに到着した二人は、ホリヨーク、アスペンを初め関係都市を精力的に回り、十分な成果を持って翌年一月三十一日、無事帰京したのです。帰京するや田辺は、水車動力を廃し、発電所建設にかかります。その結果、蹴上発電所が完成し、以後の京都市発展の原動力となりました。かくして、明治二十三年（一八九〇）四月九日、四年八か月に及ぶ琵琶湖疏水の大事業は、実に百二十五万六千円の巨額の費用と十七名と言う尊い犠牲者を出し、延べ四百万人の人夫の手により立派に竣工し、その後の京都の産業発展のため多大の役割を果たしてくれました。着工当時の国家財政が七千万円



スタンレー式発電機



インクライン



「水力發電事業設立之碑」



蹴上発電所

規模であり、内務省の土木費総予算が百万円台に過ぎず、京都府の総予算も五、六十万円であったことから考へても、北垣知事がこの事業に賭けた執念が並々ならぬものであったことがうかがえます。

平安建都千百年事業

琵琶湖疏水が開通し、わが国最初の水力発電所が創設された京都は、明治初年以来、常に屈辱に耐え起死回生の機会を願っていた市民の心の中に大きな自信を植え付けました。京都はもはや、西方の一地方都市「西京」ではなく、新しい近代都市「京都」として甦つたのです。

明治二十五年（一八九二）四月、桓武天皇の事跡を調査するため入洛した

田口卯吉が、当時京都商業會議所副会頭であった中村栄助に会い、四方山話の中で、明治二十八年（一八九五）が平安遷都千百年にあたる旨を伝えます。田口は、京都の現状を考えれば、町おこしのためにも是非その機会に「平安遷都千百年祭」を盛大に催すべきだと提案しました。この提案を受けた中村は、ただちに確井小三郎を始めとする実業家協会の会員に計り、全員の賛同を得ます。かくして、協会は同年五月

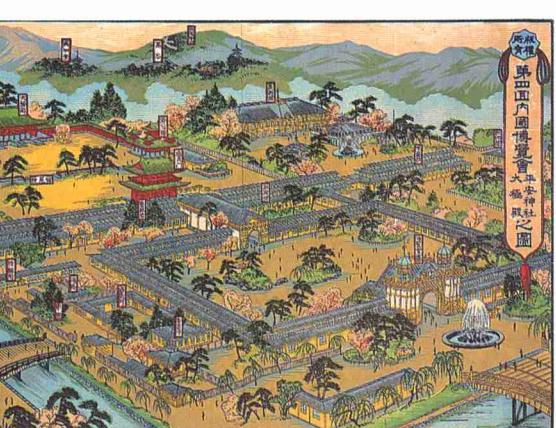
市会は初代市長・内貴甚三郎を委員長とする委員会を設け、計画の実現を目指しプランを練ります。一方、東京においても、京都市の行う記念事業に協力すべく同年十一月、公爵・近衛篤磨が会長となり「平安遷都記念協賛会」を設立、全国規模で役員、会員を集め財政面での協力体制が出来上がりました。こうした動きの中、京都府もまた翌二十六年にこの計画に加わり、平安神社創建のプランを提出するのです。



応天門から見た平安神宮

十六年（一八九三）十月一日に起工され同二十八年二月二十五日に竣工しました。工事途中の二十七年二月に協賛会は平安神社創立の許可を正式に取得し、竣工後の二十八年三月十五日に「官幣大社平安神宮」として鎮座式が厳粛に執り行なわれました。大極殿の復元と共に主要な記念事業として、第四回国勧業博覧会が挙げられます。

明治十年、東京上野で始まつたこの博覧会は、第三回まで東京で開催されないという見地から、関西での開催が決定、ここに博覧会誘致を巡つて京都



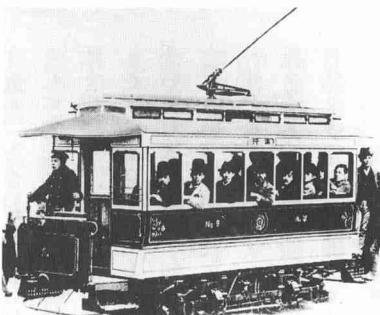
「第四回国勧業博覧會」の図（大塚隆氏蔵）

と大阪との間で熾烈な誘致合戦が展開されたのです。維新以降の経済的発展において、東京、大阪に後れを取つている京都は、この博覧会開催を機会に経済的飛躍を計るという市民の強い願いが込められていました。明治二十九年十二月、大阪側の代表が入洛し、互に激論を戦わせた結果、第四回は京都、第五回は大阪市で開催することで合意、翌年四月、上京区岡崎町で勅業博を開く旨の勅令が公布されました。

当時の岡崎一帯は、琵琶湖疏水開通に

ともない京都市上京区に編入されてはいましたが、野菜畑や雜木林が混在する土地でありました。博覧会の開催が決定するや、京都市はただちに用地の買収、整地、給水、植樹など準備に取り掛かります。会場は、疏水に架かる慶流橋の正面に決定され、明治二十六年の年末から急ピッチで工事が開始され、翌年八月にはほぼ完成しました。

明治二十八年四月一日午前十時、美術館横の式場にて華々しく開会式が挙行されました。工業館は面積四千二百坪という最大の規模を誇り、回の字形の建物の中には十一万点余りの出品物が並び、その中央を平安神宮に通じる大通路が横切っていました。また、付属する農林館や機械館、水産館、動物館なども出品物が溢れましたが、美術館では約五千点の作品が観客を魅了しました。中でも、黒田清輝作の「朝妝」は、日本最初の裸体画とあって当時大センセイションを巻き起こし、展示を巡つて風紀上の物議を醸し出しましたが、審査総長・九鬼隆一の公開決定によつて展示され、連日作品の前には黒山の人だかりがあつたといわれています。こうして七月三十一日までの会期中、実に百十三万人もの観客が訪れたと伝えられます。



日本最初の市街電車（チンチン電車）
京都電気鉄道会社
(京都市交通局蔵)

この記念祭に合わせ、博覧会場への市民の足として市街電車を走らせようという機運が財界から起ります。先に東京で開催された第三回国勧業博覧会に赴いた高木文平と浜岡光哲は、会場内で展示運転されていた米国製の電車を見て驚愕しました。帰京した二人は、着々と工事が進められている疏水開発に伴う蹴上発電所の建設を目前にして、交通機関としての市街電車の運行に意を強くします。明治二十六年には大沢善助などがこの計画に加わり、京都電気鉄道会社を設立、市街電車事業の許可を取り、博覧会開催日に向けて路線施設の工事を開始しました。

明治二十八年二月一日、伏見線（伏見油掛から塩小路高倉迄）が開通し、続いて四月一日には七条ステーションから五条小橋、木屋町二条を経由して

トル余りの行程も完成しました。ちなみに総工費は、二万五千円であつたといわれています。ここに日本最初の市街電車が誕生したのです。電車は米国製の電気モーターを備えた国産品で、開業当時は時速9・6キロといいますから、徒歩よりやや早い程度のものでした。しかし、市内交通機関に旋風を巻き起こした画期的存在である市電は、たちまち、市民はもちろんのこと全国的に話題となり、電鉄会社が所有する六車輛をフル運転しても捌き切れないとほどの乗客が、連日詰め掛けたということです。

明治二十八年七月三十日、内国勧業博覧会は盛会裡に幕を閉じます。しかし、京都市民は息つく暇もなく、十月に予定されている「遷都千百年記念祭典」に向けた最終準備に取り掛かります。当初四月三十日に予定されていたこの記念祭典は、直前にロシア、フランス、ドイツの三国干渉があり、十月に延期されました。

十月二十二日から三日間に亘つて記念祭は盛大に繰り広げられ、翌二十五日、時代行列なるものが街中を練り歩きました。これは、京都が都であった千年余りの各時代の風俗を模したもの

博覧会会場、南禅寺に至る七キロメートル余りの行程も完成しました。ちなみに総工費は、二万五千円であつたといわれています。ここに日本最初の市街電車が誕生したのです。電車は米国製の電気モーターを備えた国産品で、開業当時は時速9・6キロといいますから、徒歩よりやや早い程度のものでした。しかし、市内交通機関に旋風を巻き起こした画期的存在である市電は、たちまち、市民はもちろんのこと全国的に話題となり、電鉄会社が所有する六車輛をフル運転しても捌き切れないとほどの乗客が、連日詰め掛けたということです。

明治二十八年七月三十日、内国勧業博覧会は盛会裡に幕を閉じます。しかし、京都市民は息つく暇もなく、十月に予定されている「遷都千百年記念祭典」に向けた最終準備に取り掛かります。当初四月三十日に予定されていたこの記念祭典は、直前にロシア、フランス、ドイツの三国干渉があり、十月に延期されました。

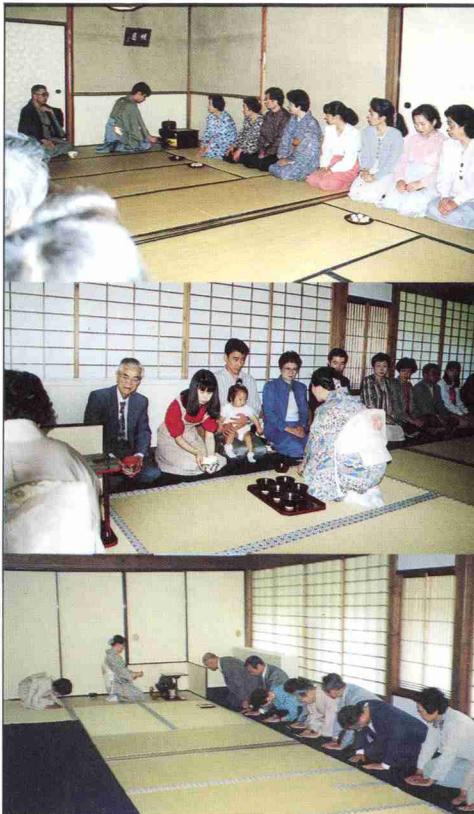
河原町御池の市議会堂を出発した行列は、河原町二条を烏丸に抜け、四条まで南下、縄手通りから三条を経由して平安神宮へ向かいました。沿道には多くの市民や観光客がこの行列を一目見ようと詰め掛け、街中が熱気に溢りました。

かくして、明治の京都市民は、寂れ行く京都を近代産業都市として復興すべく、行政と市民が一体となつて必死に努力を重ねたのであります。

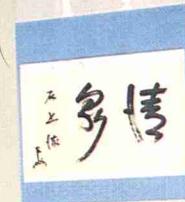


時代祭（平安神宮より御所へ）

春の区民茶会



上京区の恒例となっている春の上京区民茶会は六月四日、梅の実が香る北野天満宮で、表千家家元の懸金により行われました。この日、本席の明月舎と、副席の社務所書院では四百人の来客で賑わいました。



会記（本席） 主 不審庵
寄付掛物 対水筆 青楓二鯪の絵
前二箱書付飾り

本席掛物 即中斎筆横物 清泉石上流
花入 覚々斎好手付置かご 惺齋箱
花 黒ゆり 泡盛しようま 姫ゆり

香合 即中斎好波時絵溜一閑筏 共箱
先代一閑作
白檀紙金敷紙しきて

釜 惺齋好刷毛目切合せ
唐金琉球風炉 同右

即中斎好小袋棚

水指 即中斎好交趾牡丹平 永楽造
茶器 即中斎好鑊倉彌十牛平棗

茶碗 惺入作 黒 井戸形 即中斎箱書

替 仁清写扇面流し絵 永楽造

茶杓 碞々斎作 二本入り

二条城内の松竹を以て

銘ねむり雀 ぬれ鷺 共筒箱
建水 朝日焼

蓋置 惺齋好サツマ焼 凤凰の絵
松の木摺漆鉢々盆二

菓子 青梅 嘯月製

茶 珠の白 柳桜園詰

副席

主 三國 操

菓匠

本家玉寿軒

〒602 京都市上京区今出川大宮東入
TEL (075) 441-0319
(075) 414-0319

内科・消化器科・循環器科
呼吸器科・外科・整形外科
小児科・放射線科・理学療法科
人間ドック

医療法人 幸生会
室町病院

〒602 京都市上京区室町通上立売下ル裏築地町88番地
TEL (075) 441-5859

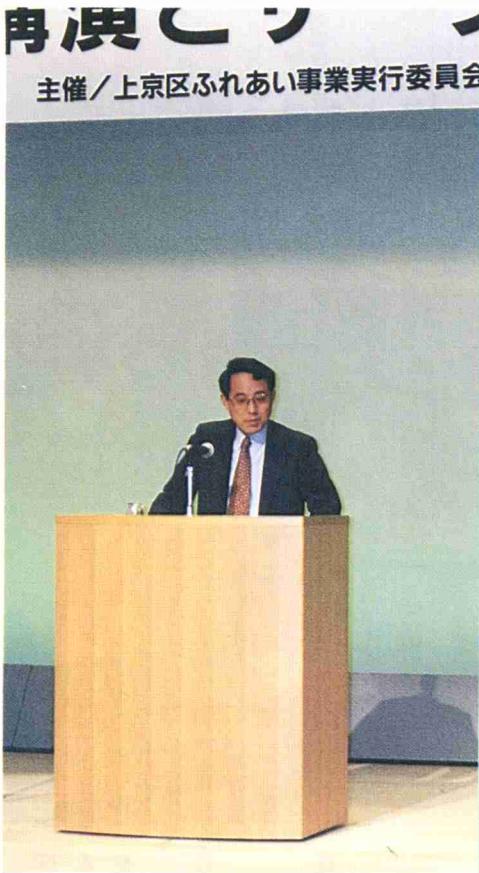
☆秋の上京区民茶会は十一月五日に、裏千家研修会館で行われます。

上京区民ふれあい文化大学

平安京の諸相

講師 同志社女子大学教授

朧谷 寿氏



羅城のない日本の都

北は一条大路から南は九条大路、東は東京極大路、西は西京極大路、これらに囲まれた中を平安京とし、外を平安京外と呼びました。この真ん中を通る朱雀大路を中心にして、左京と右京に分かれて います。朱雀大路が九条と交わるところに羅城門があります。

羅城門は平安京の玄関ですから立派

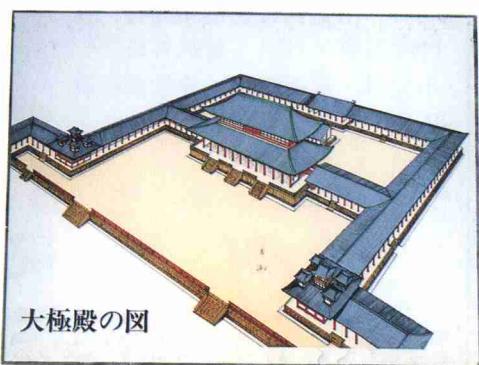
心戦しました。

都ですが、以来、日本の都はみな中国の真似です。本来なら城壁を造らなければならぬのに、藤原京・平安京・長岡京・平安京にしても、文献にはもちろん出ませんし、発掘においても羅城の痕跡はあらわれておりません。日本本の都ではその必要がなかつたということです。しかし平安京の玄関、つまり羅城門は造つても両サイドに何もなければ体裁が悪い、そこで、九条大路だけは両サイドに土壙のようなものを造つて一応の景観を整えました。しかし、東と西と北においては、そういうものすら見られていないのです。

その一つの例として、法成寺と東京極大路を挟んで京極殿があります。これが藤原道長の屋敷です。この屋敷で道長の娘の彰子が田植を見物したいといつた時に、京極殿の東の築地の一部を崩して鴨河原で行われている田植風景を見物したという話が『栄華物語』に出てくるということは、東の築地壙を崩したら鴨川まで見通せたということです。この羅城門も平安京が始まつて百年位で地震で倒れるのです。その後、一旦再建されますが、十世紀の後半には廃れていきました。

都ですが、以来、日本の都はみな中国の真似です。本来なら城壁を造らなければならぬのに、藤原京・平城京・長岡京・平安京にしても、文献にはもちろん出ませんし、発掘においても羅城の痕跡はあらわれておりません。日本の都ではその必要がなかつたということです。しかし平安京の玄関、つまり羅城門は造つても両サイドに何もなければ体裁が悪い、そこで、九条大路だけは両サイドに土塙のようなものを造つて一応の景観を整えました。しかし、東と西と北においては、そういうものすら見られていないのです。

平安京の主要な遺跡は、みな上京なのです。ハイクラスの人が住んでいるのも上京なのです。といいますのは十世紀の終わり頃に、平安京ができてから、こんなに変わってきたということを隨筆風に書いた記録があります。それは『池亭記』といい、慶滋保胤によつて天元五年（九八二）に書かれたものです。その本の中で平安京の四つの変化について述べています。その一つは右京が非常に廢れたということ、二つ



千本丸太町西北角の植込に
最近できた説明板より

目は左京が繁栄したということ、もう一つは左京の中でも四条以北には有力な人たちが住んでいた、貧しいひとは南にいたと書いています。左京の四条以北ということは今の上京になるわけです。左京の中でも北と南で土地の値段が全然違っていて、北の方が高かつたのです。その証拠として、彼は京極殿の北、土御門大路の上東門の近くに自分で屋敷を構えることにしましたが、自分で借り生活をしていました。彼は学者ですが、六位で大内記という官職におきました。五十になんなんとした頃、『池亭記』では、自分が今借りて住んでいるところでは、土地代が高くて手が出ない。そこでやっと六条の辺りに四分の一町の土地を求めて造ったのが池亭をいう邸宅なのです。土御門の辺りでは家を持てなかつたけれども、六条辺りでは持てたということで、逆に考えると北の方が土地代が高かつたということになるのです。四条から北には名だたる貴族たちが甍を並べていたところなのです。

この三つの点で、何を指摘しているかといいますと、鴨川を越えてというこれまで人家が進出していったと書いてあります。それから一条を越えて北の方は畠ばかりです。右京が衰退している間に、夷川五色豆の通りが模型でも証明されました。右京にいたと書いています。夷川通堺町東TEL.075(211)5211~3三条店/〒604 京都市中京区三条通河原町東TEL.075(255)0390

にも人の家が進出して行つたという点を四つ目に指摘しているわけです。そこで、この『池亭記』がどの程度史実と合うか合わないかということは、かねがね研究者の注目するところでしめた。それが最近になって証明されたのが、甦る平安京展で作られた平安京の模型でした。この模型は一億円をかけましたが、考古学者、歴史文献学者、地理学者、建築学者、景観の専門家とかいう人々の共同研究会で、二年にわたる研究討議の結果を総結集したものなのです。ですからこれはお金もさることながら、生きた平安京ということになります。

しかし、この模型を作るのには、いろんな問題がありました。まず四百年の幅をいつの時代に取るかということです。ある二~三十年の時代を切つてしまえば中はこんなに埋まりません。だから、ここには四百年の時代が凝縮されました。いってみれば、夢の平安京です。この中で、朱雀大路の近くは平安前期の特色が出ていたとか、左京の方は平安後期の特色が出ていたとか、いくつかの住み分けが指摘できます。

上京の中心——一条革堂

十五~六世紀ごろになりますと、京都にも一揆が押し寄せきます。一揆が起こりますと、必ず東寺の鐘で知らせます。それに対し一揆に対抗する人々が集まって防戦しますが、その際に、上京は一条革堂の鐘を鳴らして知らせる記録に書いてあります。下京は六角堂です。六角堂は三条の南、六角通の北にあります。



夷川五色豆



豆
まめ
政
まさ

本店/〒604 京都市中京区夷川通堺町東
TEL.075(211)5211~3
三条店/〒604 京都市中京区三条通河原町東
TEL.075(255)0390

イタリアが好き!
イタリア料理専門店

レストラン

フクムラ

河原町店 中・六角河原町東入 255-5733(水・休)
四条店 中・富小路四条上ル 255-2060(火・休)
(株)イタシヨク(イタリアワイン・食品輸入元)(小売歓迎)
北・紫野大徳寺門前町 491-0900

移転させられたのです。一条革堂は寛弘元年（一〇〇四）に行円が作つたということがはつきり記録に出でてきます。三蹟として知られる藤原行成は、その近くに住んでいて、行円と知り合いだつたらしく、行円に頼まれて行願寺の寺額を書いたことを『権記』という自分の日記に書いております。ではなぜ行願寺を革堂というのかと、行円は寒暑を問わざ常に鹿革の衣を身にまとっていたことから革聖といわれたのです。革聖が建てた寺だから革堂というようになつたわけです。

長岡京から平安京へ

御承知のように平安京は桓武天皇によって造られた都です。これはいうまでもないことです。桓武天皇はこの京都で天皇の位に即いたわけではありません。長岡京の前、平城京の晩年に即位したのです。そこで生涯を送れば何も苦労しなくてすんだのです。ではなぜ奈良を捨てたのか、その理由としては交通の便が悪いということがあります。幹線道路が奈良を通っていません。東海道、東山道、みな山崎の辺りを通るのです。それから水の便は特に悪く、これは致命的です。奈良時代の

中期位から中央集権国家がどんどん進んで行きます。中央から各國々に国司を派遣して地方をコントロールできる中央集権体制のためには、大量の物資を運んでこなければなりません。それに陸よりも水の便の方がよいに決まります。

もう一つは仏教勢力からの離脱です。

当時の寿命からすればかなりの高齢なのです。

平城京の中には東大寺、興福寺、藥師寺など、お寺が存在していて大きな力を持つていました。そして彼らは宗教の力に物をいわせて政治にいろいろと口ばしを入れてくる、いってみれば政治がやりにくくてしようがない。この二つの要素から脱却するために平城京を捨てたのです。そして新しい都として新しくてすんだのが長岡京です。これが延暦三年（七八四）のことです。本来ならそれが桓武天皇の最後の都になり、それ以後、何もなければ平安京の形で都が続いたのです。ところが十年間で捨て



下立売千本東入

られた理由を一言でいうと陰謀事件が起こったことです。桓武天皇のお母さんは高野新笠、お父さんは光仁天皇です。そこには藤原百川という人がいます。桓武天皇とその父の光仁天皇が即位できたのは、この百川のおかげです。本来なら光仁天皇はアウトサイダーにして天皇になれるような家柄ではなかつたのです。ところが、道鏡事件などいろいろな事件が起こったために、天武系統から離れて天智系統の天皇を立てようとした。桓武天皇の即位は四十五歳です。

桓武天皇とその父の光仁天皇が即位できたのは、この百川のおかげです。本来なら光仁天皇はアウトサイダーにして天皇になれるような家柄ではなかつたのです。ところが、道鏡事件などいろいろな事件が起こったために、天武系統から離れて天智系統の天皇を立てようとした。桓武天皇の即位は四十五歳です。

桓武天皇としては自分の息子を皇太子としたかったのですが、自分を天皇に即けてもらった百川や光仁天皇の意志を飲まざるを得なかつたのです。百川の甥に種継という人がおります。桓武天皇は長岡遷都の時に、この藤原種継を造宮使に抜擢します。新都を造る時の最高責任者は天皇の最も信頼する人を当てるわけです。長岡京に都を遷した翌延暦四年（七八五）のある夜、種継が家来の者を連れて都の進捗状態を見まわっている時に、いざれからともなく矢が飛んできて種継の首筋を射



あたたかい看護と治療で
地域医療に貢献……

特定医療法人 相馬病院

〒602 京都市上京区御前通今小路下ル南馬喰町911番地
TEL. 075(463)4301(代)

抜き、一週間位のうちに死んでしまいます。それを聞いた桓武天皇は驚いて犯人を割り出して行ったら、大伴氏であつたということで大伴氏を全部処罰してしまいます。ところが早良親王も種暗殺にかかわっていたということになつたのです。そこで早良親王は皇太弟を下ろされ、その代りに後の平城天皇である安殿親王を皇太子に立てます。早良親王を乙訓寺に幽閉し、さらには淡路島に流しますが、その途中で憤死します。そのまま亡骸は淡路島に流れ葬られるわけです。

京都にある上御靈神社と下御靈神社がそうです。そして御靈会も怨靈鎮めの祭として始まるわけです。

山河襟帶—都ぞ春の錦

平安京遷都の最初の記事は、延暦十二年（七九三）の正月十五日で、『日本紀略』に「大納言藤原小黒麻呂・左大弁紀古佐美等を遣わして、山背国葛野郡宇太村の地を相せしむ。都を遷さんが為なり。」とあります。ここで初めて平安京と呼んだというわけです。

しかし本格的な都造りは遷都後に始まるのです。例えば平安遷都三年後の延暦十六年（七九七）三月十七日の『日本後紀』には「遠江・駿河・信濃・出雲等の国をして雇夫二万四十人を進めしめ、以て造宮役に供せしむ。」とあります。これは遠江や駿河の国々から二万人の人夫を京都へ連れてきたとされています。この歌を詠んでいる場所は京都の町の中を歩いてといふことはなく、高台から京都の町を眺めて詠んだ歌なのです。素性法師は三十六歌仙の歌人として有名な人です。この父親は僧正遍照で、そのお父さんは良岑安世という元親王なのです。さらにその父親は桓武天皇だというのです。すると素性法師は桓武天皇の曾孫ということになります。つまりこの歌には、私のひいおじいさんが造った都がこんなにきれいになつたのだよという思い入れが、この歌から感じ取ることができます。この歌から感じ取ることができます。

しかし、早良親王の怨靈がそこで止まるわけではありません。まず早良親王の怨靈を鎮めるために淡路島に立派な御陵を造り、早良親王以下の人々を



のようになつて、川が流れているという素晴らしい景勝の地に新しい都の名前をつけようというのです。それまでは山背国つまり平城京の山裏の国であつたのが今度の城塞をなしているというので山の城の国とし、さらに人々が口を揃えて平安京と呼んだというわけです。

しかし本格的な都造りは遷都後に始まるのです。例えば平安遷都三年後の延暦十六年（七九七）三月十七日の『日本後紀』には「遠江・駿河・信濃・出雲等の国をして雇夫二万四十人を進めしめ、以て造宮役に供せしむ。」とあります。これは遠江や駿河の国々から二万人の人夫を京都へ連れてきたとされています。この歌を詠んでいる場所は京都の町の中を歩いてといふことはなく、高台から京都の町を眺めて詠んだ歌なのです。素性法師は三十六歌仙の歌人として有名な人です。この父親は僧正遍照で、そのお父さんは良岑安世という元親王なのです。さらにその父親は桓武天皇だというのです。すると素性法師は桓武天皇の曾孫ということになります。つまりこの歌には、私のひいおじいさんが造った都がこんなにきれいになつたのだよという思い入れが、この歌から感じ取ることができます。

「見わたせば柳桜をこきませて宮ござ春の錦なりける」という歌が古今集にあります。つまり平安京の最も美しい姿をいい当てる歌であります。これは、ああ京都はきれいだなあって平安京と呼んだというわけです。

しかし本格的な都造りは遷都後に始まるのです。例えば平安遷都三年後の延暦十六年（七九七）三月十七日の『日本後紀』には「遠江・駿河・信濃・出雲等の国をして雇夫二万四十人を進めしめ、以て造宮役に供せしむ。」とあります。これは遠江や駿河の国々から二万人の人夫を京都へ連れてきたとされています。この歌を詠んでいる場所は京都の町の中を歩いてといふことはなく、高台から京都の町を眺めて詠んだ歌なのです。素性法師は三十六歌仙の歌人として有名な人です。この父親は僧正遍照で、そのお父さんは良岑安世という元親王なのです。さらにその父親は桓武天皇だというのです。すると素性法師は桓武天皇の曾孫ということになります。つまりこの歌には、私のひいおじいさんが造った都がこんなにきれいになつたのだよという思い入れが、この歌から感じ取ることができます。

三月十五日に京都ウイングスで行われた上京区民ふれあい文化大学での講演を要約しました。

第4回

ふれあい 史蹟ウォーキング

四回目を迎えた上京区民ふれあい史蹟ウォーキングは、三月五日に上京区の東北部で行いました。今回はNHKの連続ドラマ「花の乱」にかかわりのある史蹟三カ所を選び、四百人の参加者は、それぞれのポイントの史蹟に分かれて集合し、ガイドマップを手に、四キロ余りのコースを歩きました。

まず折柄、人形展の開かれていた宝鏡寺（人形寺）では、日野富子の像を拝観しました。堀川通から今出川通を経て、広い相国寺の境内を散策し、足利義政の墓に詣り、寺町通に沿う多くの寺を眺めがら、応仁の乱勃発の地である上御靈神社へ着きました。それぞれの史蹟での説明を聞き、上御靈前通を西へ、表千家や裏千家の前を通り、出発点に戻りました。

他の二班も、それぞれのコースをたどりながら、昼前までに半日のウォーキングを楽しみました。

☆第五回ふれあい史蹟ウォーキングは、十一月十九日に行われます。

「花の乱」のあとを訪ねて



相国寺 足利義政の墓



宝鏡寺（人形寺）



上御靈神社
応仁の乱勃発の地



永年の信用と実績
真心のこもったご奉仕

葬祭センター 株式会社

公益社

本社
烏丸三条下ル☎(075)221-4116(代)

北 公 益 社 / 京都市北区紫明通堀川東入
中 公 益 社 / 京都市東山区五条通東大路東入
南 公 益 社 / 宇治市横島町(文教短大前)
滋賀公益社 / 大津市朝日が丘一丁目

☎075(431)7121代
☎075(551)0042代
☎0774(20)0042代
☎0775(23)0042代

上京クイズ

前回の正解は

同志社（彰榮館）



読者之声

○今まで何気なく歩いていた所を本誌のおかげで、わざわざ足を運び、見直すようになりました。

（待賢・堤 美代）

○区民薪能や、ふれあいまつりに参加させていただきました。なれない手で造花のお手伝いをしました。

（小川・池本一子）

☆ 第五回上京区民ふれあいまつりは、十月二十八日に正親小学校校庭で行われます。

○明治生まれで、小学生の時には仁和校の西にお土居がありました。あの土の行方が気になっています。

（仁和・唐田利一）

○京都で生まれて京都で育ったわりには、自分の住んでいる上京区のことですら、よく知りません。この冊子をよく読んで勉強し、遅れを取り戻そうと思います。

（仁和・小林未紀）

▼西陣のあるお店の中に「上京—史蹟と文化」が綴じられて吊り下げてあるのを見て、うれしく感じました。大切に保存していただいていることに感謝します。

（い）

「上京—史蹟と文化」は、区内の文化や史蹟、学区の文化活動の紹介を通じて、文化とのふれあいの場づくりをはかることを目的として、上京区民ふれあい事業実行委員会と上京区役所が発行し、年二回、上京区全世帯に配布しております。

表紙／御所の四季
紅に染る秋は、御所の美しさをひときわ引き立たせる
撮影者／桂 俊夫
(日本写真家協会会員)

編集後記



これはどこでしよう？

○正解の中から抽籤にて二十名の方に記念品をお送りします。

○締切 平成七年十月十五日

○正解と住所・学区・氏名・電話番号を記入の上
〒六〇二 京都市上京区今出川通
室町西入 上京区役所地域振興室
「上京—史蹟と文化」宛にハガキでお送り下さい。また本誌の読後感もお書き下さい。



医療法人社団
行陵会



内科・外科・整形外科・泌尿器科・循環器科
胃腸科・理学診療科・神経内科・歯科

大原記念病院

- ・支援センター・訪問看護
- ・デイケア・ナイトケア

老人保健施設

博寿苑

京都市左京区大原井出町164番地

TEL 075(744)3121 FAX 075(744)3126